



福岡町立  
柳田國男・松岡家記念館  
〒679-2204  
神崎郡福岡町西田原  
1038の12  
電話：0790-22-1000

新年あけまして  
おめでとうございます



岩田健三郎・画「さるぼぼ」

平成27年は、記念館の開館40周年、柳田國男誕生140年、松岡鼎生誕155年という3つの節目が重なった年でした。展示や行事は、これらをテーマとして開催しました。

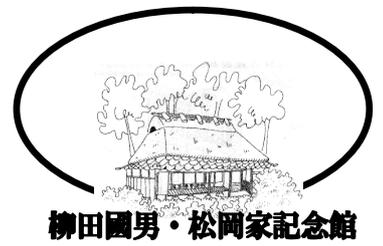
また、第36回山桃忌や柳田國男検定にも、大勢のみなさんにご参加いただき、柳田國男の功績について、理解を深めていただきました。

さて、平成28年は、松岡家の3男である井上通泰の生誕150年という年になります。

### 井上通泰 生誕150年



井上通泰は、松岡家の3男として誕生し、泰蔵と名付けられました。そして、12歳のときに神東郡吉田村(現福岡町南田原)の井上碩平の養子となり、通泰と名前をあらためました。



柳田國男・松岡家記念館

☆☆入館案内☆☆  
☆開館時間  
9時～16時30分  
(入館は16時まで)  
☆休館日  
月曜日、祝日の翌日  
12月28日～1月4日  
☆入館料  
無料

**学問成就合格鉛筆**  
学問成就を祈願する縁起の良い五角形の合格鉛筆です。  
※記念館、福岡町教育委員会にて販売しています。

1本 100円

### 故郷七十年を 読む



通泰が井上家の養子に入ったのは、國男が3歳のときでした。

『故郷七十年』には、井上家は、弟である國男が遊びに行くと、非常に世話をしてくれたとあり、通泰が大学予備門で学ぶために、井上家を離れていたときには「一番の楽しみ場所」として、出入りしていたとあります。

そして、辻川の村はずれに出ると、遠くに井上の家の屋根と白い塗壁が見えて「いかにも何時でも遊びに来いといっているように思われた。子供の私は行きたくてたまらなかった」と、記しています。



土器出土状況 (石室の奥側)

**福岡の古墳の魅力**

東新田古墳は、西田原の田の中に位置しており、約100m西には町指定文化財の東広畑古墳があります。平成9年に、両古墳は町の史跡に指定されました。

東新田古墳は「つづれ塚」とも呼ばれており、石室は天井石がなく、一部しかのこっています。

発掘調査の結果、直径約16mの円墳であるということがわかりました。

また、左写真のとおり、多くの鉄器や土器などがみつかっています。

③豊富な副葬品を有する古墳II  
東新田古墳①(北野)  
町指定文化財